

戦前期の南方地域における建築活動と室内環境調整手法

1. 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究

配付資料 100 ページ以降の下記の論文を参照。なお、論文中には、配付資料としての通しページ番号は打たれていないので注意のこと（合計 36 ページ分、135 ページまで）。また論文[1]～[9]は、もとは B5 判のものを A4 判に拡大。

- [1] 八幡真樹子，辻原万規彦，平川真由美：「南方建築」に用いられた室内環境調整手法 - 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究 その1 - ，日本建築学会九州支部研究報告，第40号・2〔環境系〕，pp.129～132，2001.3.
- [2] 矢野詩史，辻原万規彦，平川真由美：南洋群島における建築組織について - 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究 その2 - ，日本建築学会九州支部研究報告，第40号・3〔計画系〕，pp.633～636，2001.3.
- [3] 辻原万規彦，香山梢，今村仁美，平川真由美：ヤップ島に現存する日本委任統治時代の建築物（1） - 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究 その3 - ，日本建築学会九州支部研究報告，第41号・3〔計画系〕，pp.413～416，2002.3.
- [4] 香山梢，辻原万規彦，今村仁美，平川真由美：南洋群島における建築物の床下の構造について - 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究 その4 - ，日本建築学会九州支部研究報告，第41号・3〔計画系〕，pp.417～420，2002.3.
- [5] 辻原万規彦，香山梢，今村仁美，平川真由美：旧南洋群島への建築技術の伝播（1） - 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究 その5 - ，日本建築学会九州支部研究報告，第41号・3〔計画系〕，pp.421～424，2002.3.
- [6] 辻原万規彦，今村仁美，香川治美：サイパン・チャランカノア地区に残る日本委任統治時代の建築物（1） - 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究 その6 - ，日本建築学会関東支部研究報告集Ⅱ，第73号，pp.453～456，2003.3.
- [7] 辻原万規彦，今村仁美，香川治美：テニアン・サンホセ地区に残る日本委任統治時代の建築物（1） - 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究 その7 - ，日本建築学会関東支部研究報告集Ⅱ，第73号，pp.457～460，2003.3.
- [8] 辻原万規彦，今村仁美，香川治美：パラオ・コロールにおける日本委任統治時代の建築物の残存状況と旧パラオ支庁庁舎 - 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究 その8 - ，日本建築学会九州支部研究報告，第42号・3〔計画系〕，pp.609～612，2003.3.
- [9] 辻原万規彦，今村仁美，香川治美：旧パラオ医院本館と旧南洋庁観測所および気象台庁舎

について - 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究 その
9 - , 日本建築学会九州支部研究報告, 第42号・3 [計画系], pp.613～616, 2003.3.

2. 参考文献 ([] 内は, 熊本県立大学附属図書館所蔵情報)

- [1] 『パラオ共和国 - 過去と現在そして 21 世紀へ - 』(須藤健一監修, 倉田洋二・稲本博
編, おりじん書房, 2003年4月, 20,000円, ISBN: なし) [所蔵なし]
(「パラオに残る日本委任統治時代の建物」(辻原万規彦, pp.208～223) 所収)

ミクロネシアの現況などについて

- [2] 『太平洋諸島入門』(太平洋学会編, 三省堂, 1990年9月, 1,528円, ISBN: 4-385-
43158-2) [所蔵なし]
[3] 『サイパン・グアム 光と影の博物誌』(中島洋, 現代書館, 2003年4月, 2,310円,
ISBN: 4-7684-6855-1) [所蔵なし]
[4] 『ミクロネシア信託統治の研究』(矢崎幸生, 御茶の水書房, 1999年9月, 8,400円,
ISBN: 4-275-01777-3) [所蔵なし]
[5] 『政治空間としてのパラオ 島嶼の近代への社会人類学的アプローチ』(遠藤央, 世界
思想社, 2002年10月, 3,675円, ISBN: 4-7907-0958-2) [所蔵なし]

旧南洋群島関連の文献について

- [6] 『日本統治下ミクロネシア文献目録』(山口洋児編著, 風響社, 2000年9月, 8,400円,
ISBN: 4-938718-98-7) [開架2, 274.031::Y 24, 000251836]

植民地もしくは同時代の建築活動について

- [7] 『海を渡った日本人建築家 20世紀前半の中国東北地方における建築活動』(西澤泰彦,
彰国社, 2000年9月, 2,940円, ISBN: 4-395-00444-X) [開架2, 523.225::N 87,
0000193493, 0000218322]
[8] 『10+1 別冊 20世紀建築研究』(20世紀建築研究編集委員会編, INAX出版, 1999
年2月, 3,360円, ISBN: 4-87275-084-5) [所蔵なし]
[9] 『悲喜劇 一九三 年代の建築と文化』(同時代建築研究会編, 現代企画室, 1981年12
月, 3,150円, ISBN: なし) [所蔵なし]
[10] 『朝日選書 530 戦時下日本の建築家 アート・キッチュ・ジャパネスク』(井上章一,
1995年7月, 1,680円, ISBN: 4-02-259630-9) [所蔵なし]

南方を中心とした植民地について

- [11] 『岩波講座 近代日本と植民地 1 植民地帝国日本』(大江志乃夫他編,岩波書店,1992年11月,3,990円,ISBN:4-00-010481-0)〔開架2,210.611411,0000011982〕
〔書庫,210.611411A,0000065043〕
- [12] 『岩波講座 近代日本と植民地 2 帝国統治の構造』(大江志乃夫他編,岩波書店,1992年12月,3,990円,ISBN:4-00-010482-9)〔開架2,210.611412,0000011983〕
〔書庫,210.611412A,0000065010〕
- [13] 『岩波講座 近代日本と植民地 3 植民地化と産業化』(大江志乃夫他編,岩波書店,1993年2月,3,990円,ISBN:4-00-010483-7)〔開架2,210.611413A,0000011984〕
〔書庫,210.611413,0000065015〕
- [14] 『岩波講座 近代日本と植民地 4 統合と支配の論理』(大江志乃夫他編,岩波書店,1993年3月,3,990円,ISBN:4-00-010484-5)〔開架2,210.611414A,0000011985〕
〔書庫,210.611414,0000065016〕
- [15] 『岩波講座 近代日本と植民地 5 膨張する帝国の人流』(大江志乃夫他編,岩波書店,1993年4月,3,990円,ISBN:4-00-010485-3)〔開架2,210.611415,0000011986〕
〔書庫,210.611415A,0000043509〕
- [16] 『岩波講座 近代日本と植民地 6 抵抗と服従』(大江志乃夫他編,岩波書店,1993年5月,3,990円,ISBN:4-00-010486-1)〔開架2,210.611416,0000011987〕
〔書庫,210.611416A,0000043508〕
- [17] 『岩波講座 近代日本と植民地 7 文化の中の植民地』(大江志乃夫他編,岩波書店,1993年1月,3,990円,ISBN:4-00-010487-X)〔開架2,210.611417A,0000011988〕
〔書庫,210.611417,0000065017〕
- [18] 『岩波講座 近代日本と植民地 8 アジアの冷戦と脱植民地化』(大江志乃夫他編,岩波書店,1993年6月,3,990円,ISBN:4-00-010488-8)〔開架2,210.611418,0000011989〕
〔書庫,210.611418A,0000125450〕
- [19] 『沖縄県史ビジュアル版9 近代 旧南洋群島と沖縄県人 - デニアン - 』(沖縄県文化振興会公文書管理部史料編集室編,沖縄県教育委員会,2002年2月,500円,ISBN:なし)〔所蔵なし〕
- [20] 『20世紀の日本4 植民地 帝国50年の興亡』(マーク・ピーティ著,浅野豊美訳,読売新聞社,1996年12月,2,039円,ISBN:4-643-96028-0)〔所蔵なし〕
- [21] 『新潮選書 日本植民地探訪』(大江志乃夫,新潮社,1998年7月,1,785円,ISBN:4-10-600541)〔文庫本,08011431541,0000204053〕
- [22] 『帝国という幻想 「大東亜共栄圏」の思想と現実』(ピーター・ドウス/小林英夫編,青木書店,1998年8月,3,990円,ISBN:4-250-98005-7)〔所蔵なし〕

- [23] 『写真図説 日本の侵略』（アジアに対する日本の戦争責任を問う民衆法廷準備会編，大月書店，1992年12月，4,830円，ISBN：4-272-52024-5）〔所蔵なし〕

（準）国策会社について

- [24] 『国策会社・東拓の研究』（河合和男・金早雪・羽島敬彦・松永達，不二出版，2000年1月，8,190円，ISBN：4-938303-97-3）〔所蔵なし〕
- [25] 『植民地企業経営史論 「準国策会社」の実証的研究』（久保文克，日本経済評論社，1997年2月，7,875円，ISBN：4-8188-0912-8）〔開架2，335.49！！KU 11，000189465〕

戦争遺跡について

- [26] 『戦跡を歩く』（牧野弘道，ホーム社，2002年7月，1,890円，ISBN：4-8342-5072-5）〔所蔵なし〕
- [27] 『しらべる戦争遺跡の事典』（十菱駿馬・菊池実編，柏書房，2002年6月，3,990円，ISBN：4-7601-2216-8）〔開架2，210.6！！J 87，000266772〕

3. 参考 URL

- [1] 辻原の研究室のホームページ
<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/>
- [2] 立教大学大学院観光学研究科観光学専攻博士課程後期課程の千住一さんのホームページ
<http://www5b.biglobe.ne.jp/~senjucl/>
- [3] 太平洋諸島地域研究センターのホームページ
<http://www.jaipas.or.jp/>
- [4] やしの実大学のホームページ
<http://www.yashinomi.to/index.html#cd/ken-home.htm>
- [5] 「近代日本の南方関与 に関する戦後日本刊行文献目録（稿）」（京都大学人文科学研究所のホームページより）
<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/db/nanpou/index.html>
- [6] 「矢内原忠雄南洋群島関係資料展」（琉球大学附属図書館のホームページより）
<http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/riyou/tenji/yanai/h7300.html>
- [7] University of Guam Micronesia Area Research Center のホームページ
<http://guahan.uog.edu/marc/default.htm>
- [8] Micronesia Seminar のホームページ

<http://www.micsem.org/home.htm>

[9] マリアナ政府観光局のホームページ

<http://www.mymarianas.com/japanese/index.html>

[10] Northern Mariana Islands Museum のホームページ

<http://www.cnmi.net/community/museum/>

[11] College of Micronesia-FSM のホームページ

<http://www.comfsm.fm/>

[12] Federated States of Micronesia 政府のホームページ

<http://www.visit-fsm.org/index.html>

[13] パラオ共和国政府観光局のホームページ

<http://www.palau.or.jp/>